

研究分野		授業科目名				科目責任者	
生理系分野		循環器情報生理学特論Ⅰ・Ⅲ				上村 史朗	
開講年次		共通／専攻／選択		単位数			
1,2,3,4		特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択		特論Ⅰ：4(2/年), 特論Ⅲ：1/年			
目的							
循環器疾患の病態生理を詳細に理解するために、最新の画像診断技術を理解し習得する。							
授業到達目標							
(1) 心エコー図や血管内超音波、光干渉断層法等の各種画像診断法により心疾患患者の病態を評価できる。 (2) 画像診断を生かしたカテーテル治療法を習得できる。							
授業計画							
回数	月日	曜日	時間	担当者	区分1	区分2	授業内容
1	毎月	第2金	8:20-8:50	上村 史朗	講義	[抄読会]	循環器病学全般（特にカテーテル治療法）についての最新の文献を紹介する。 [場所:西館棟9階カンファレンス室]
2	毎月	第4金	8:20-8:50	上村 史朗	講義	[抄読会]	循環器病学全般（特にカテーテル治療法）についての最新の文献を紹介する。 [場所:西館棟9階カンファレンス室]
3	毎週	水	17:00-18:00	上村 史朗	講義	[症例検討会]	循環器疾患の外科・内科合同症例検討会 [場所:西館棟9階カンファレンス室]
評価方法							
【特論Ⅰ】 (1) 1年間※で、講義は30時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。 (2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を2回行い、その要約2編を提出する。 【特論Ⅲ】 (1) 1年間※で、講義は15時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。 (2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を2回行い、その要約2編を提出する。 ただし、特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものと異なる論文（症例）であること。 特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。 ※1～3年生は2月末まで、4年生は11月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。42・43頁：単位履修方法参照。							
課題（レポート等）に対するフィードバック							
作成されたレポートの内容に対して意見や修正を加えて、後に返却してフィードバックする。							
教科書							
ISBN-9784524250134, チャートでわかる実践心エコー図法：エキスパートへの近道(改訂第2版), 吉田 清 他(編集), 南江堂, 2009 ISBN-9784524260027, チャートでわかる実践IVUS,OCT&FFR, 大倉 宏之, 南江堂, 2009							
参考書							
ISBN-9783319108001, Cardiovascular OCT Imaging, Ik-Kyung Jang, Springer, 2014							
準備学習（予習・復習等）							
(1) 内容は事前に掲示するので、臨床的内容に関してはUp-To-Dateで、研究的内容に関しては参考書で該当箇所を予習しておく。 (2) 動脈硬化性心血管疾患の一般的知識を予習、復習すること。							
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連							
以下の項目を満たした場合に、修了認定判断する。 (1) 課題を探求し、仮説立脚、検証に至るまでの科学的的方法論・思考法を知悉している。 (2) 卓越した研究成果をあげ、専門分野の深い学識を獲得している。 (3) 医学・医療分野を牽引し、指導的役割を果たすことができる。 (4) 学術研究が国民からの信頼、負託に応えるものであることを理解し、高い倫理観を身につけている。							
注意事項・メッセージ							
一流の循環器関連医学雑誌から、トピックスに合致する臨床論文を読む習慣をつけてください。							